

(2) 予察情報－3 月報

4 月月報(令和3年5月21日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成、半促成トマトの生育は概ね順調であった。

葉菜類：キャベツの生育は概ね順調で、生育は7日程早まっている。コマツナは葉が黄変する症状が多発生している。

根菜類：コカブの生育は概ね順調であった。

イモ類：ジャガイモの生育は概ね順調であった。

(2) 果樹

ナシ：東京都農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。全ての品種で、開花始期及び開花盛期は8～11日早くなった。

新高：開花始	3月27日（－9日）	開花盛	3月31日（－9日）
稲城：開花始	3月29日（－8日）	開花盛	4月1日（－9日）
幸水：開花始	3月31日（－11日）	開花盛	4月4日（－11日）
豊水：開花始	3月31日（－10日）	開花盛	4月2日（－11日）

(3) 茶樹

数回低温の日があり、早生種が影響をうけ生育がおくれ気味となった。このため、やぶきた等の摘採日と同程度になった圃場が多かった。また、防霜ファンの設定温度により寒害を受けた圃場も見られた。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハマキムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ < 発生時期：並 発生量：少 >

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < やや少 > 発生はやや少なかった。

(3) 野菜の病害虫

トマト（施設）

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ (施設)		
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ (露地)		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ (施設)		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少であった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
クローバーハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 植木の病害虫

ケヤキのケヤキヒゲマダラアブラムシの発生はやや少なかった。

(6) 島しょの病害虫

多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリंगा	<誘殺なし>

5 月月報(令和 3 年 6 月 18 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト・キュウリ、露地トマト・キュウリ、ナスの生育は概ね順調であった。

葉茎菜：ブロッコリー・カリフラワー・キャベツの生育が平年に比べ 2 週間ほど早かった。タマネギの収穫期が早まり、早生のタマネギは収穫を迎えた。

根菜類：ジャガイモの収穫期が平年に比べ 2 週間ほど早かった。

(2) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるカキ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下のとおりであった。開花始期及び開花盛期ともに、5~9日早かった。

平核無	：開花始	5月7日	(-6日)	開花盛	5月10日	(-6日)
東京紅	：開花始	5月10日	(-8日)	開花盛	5月13日	(-7日)
次郎	：開花始	5月14日	(-5日)	開花盛	5月16日	(-6日)
松本早生	：開花始	5月13日	(-9日)	開花盛	5月17日	(-7日)

(3) 茶樹

摘採は5月連休明けから始まり、5月末でもまだ終了していない農家もあった。3月は生育が比較的順調だったが、4月の寒暖差が大きく、早生品種では畑により例年と比較して生葉収穫時期について遅れが見られた。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 並 >	予察灯における誘殺数はやや多く、フェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

トマト (施設・半促成)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ

褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ネギ

さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

キャベツ

菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンシロチョウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(4) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 植木の病害虫

ツバキ・サザンカ

チャドクガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
-------	---------	------------

ケヤキ

ケヤキヒゲマダラアブラムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
---------------	---------	-------------

(6) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類でコナジラミ類の発生が多かった。
それ以外の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリングア	< 誘殺なし >

6 月月報(令和 3 年 7 月 21 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

田植えは 6 月上旬までに終了した。

(2) 野菜

果菜類：施設トマトの生育は順調であった。露地トマトの生育は例年より 10 日程早かった。

葉根菜類：全般的に生育が早かった。ニンジンで裂根が多かった。

イモ類：ジャガイモで裂塊が多かった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土・露地)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通りであった。巨峰および安芸クイーンで開花始・盛期は平年より3~4日早く、高尾で開花始・盛期は平年より8日早かった。

巨峰	：開花始 5 月 24 日 (- 3 日)	開花盛 5 月 26 日 (- 4 日)
安芸クイーン	：開花始 5 月 24 日 (- 3 日)	開花盛 5 月 26 日 (- 4 日)
高尾	：開花始 5 月 27 日 (- 8 日)	開花盛 5 月 29 日 (- 8 日)

(4) 茶樹

生育は概ね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(苗)	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
シンクイムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	予察灯における誘殺数は少なくフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
------------	-------	---

クサギカメムシ	< やや多 >	予察灯における誘殺数はやや多かった。
 (3) 茶樹の病害虫		
カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。
 (4) 野菜の病害虫		
ジャガイモ		
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
トマト		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ナス		
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
さび病	< 多 >	発生は多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ

< やや多 >

発生はやや多かった。

(7) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類でコナジラミ類の発生が多かった。

母 島：オクラ、シカクマメでアジアベッコウマイマイの発生はやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ

< 誘殺なし >

ウリミバエ

< 誘殺なし >

ミカンコミバエ種群

< 誘殺なし >

コドリंगा

< 誘殺なし >

7 月月報(令和 3 年 8 月 23 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育はおおむね順調であった。

(2) 野菜類

果 菜 類：生育は順調であった。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンジン等の播種が始まった。ニンジンは高温乾燥による発芽不良が見られた。

イ モ 類：サツマイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：概ね順調な生育を示した。天候による生育の遅延等は見られなかった。

(4) 茶樹

生育は順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(平野部)	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病(山間部)	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< 並 >	予察灯の誘殺数は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ

< 並 >

発生は平年並であった。

(7) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類全般でコナジラミ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ

< 誘殺なし >

ウリミバエ

< 誘殺なし >

ミカンコミバエ種群

< 誘殺なし >

コドリング

< 誘殺なし >

8 月月報(令和 3 年 9 月 24 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：8 月の上～中旬の雨の影響でナスは開花が少なく、生育は遅れ気味であった。露地トマトは栽培が終了した。

葉菜類：キャベツ、ブロッコリーは、7 月定植分は生育が順調であった。一方、8 月予定分は降雨の影響でやや定植が遅れた。コマツナの生育は順調であった。

根菜類：8 月播種のニンジン発芽が順調であった。八王子ショウガは収穫が始まった。

イモ類：サトイモは 8 月の雨で生育が回復してきた。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：収穫始めは、‘高尾’で 1 日遅くなった。

‘高尾’収穫始 8 月 23 日（+1 日）

ナシ：収穫始めは、‘幸水’で 10 日、‘稲城’で 1 日、‘秀玉’で 3 日早くなった。

‘幸水’収穫始 8 月 5 日（-10 日）

‘稲城’収穫始 8 月 23 日（-1 日）

‘秀玉’収穫始 8 月 23 日（-3 日）

(3) 茶樹

生育は好調であった。降雨の影響により、新芽の伸長が例年よりやや大きかった。

2 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-------	---------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
----------	-------	-----------

アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

(6) 植木の病害虫

街路樹など

モンクロシヤチホコ	< 並 >	発生は平年並であった。
-----------	-------	-------------

(7) 島しょの病害虫

三宅島：トマトでコナジラミ類の発生が多かった。

御蔵島：施設野菜全般でヨトウムシ類の発生が多かった。

八丈島：キキョウランでハダニ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリング	< 誘殺なし >

9 月月報(令和 3 年 10 月 19 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

中下旬から稲刈りが始まった。収穫時期はやや早い傾向であった。

(2) 野菜

果菜類：キュウリやナスは長雨の影響で奇形が多く収量が少なかった。イチゴの定植期はほぼ平年並であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は順調であった。

根菜類：ニンジンの生育は平年並みであった。

イモ類：サトイモの生育は長雨の影響で回復し、順調であった。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは5日早かった。

‘巨峰’収穫終 9月15日（-5日）

ナシ：収穫終わりは、‘幸水’と‘豊水’で8日早く、‘稲城’で6日早かった。

‘幸水’収穫終 8月23日（-8日）

‘豊水’収穫終 9月3日（-8日）

‘稲城’収穫終 9月3日（-6日）

(4) 茶樹

生育は順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 並 >	発生は平年並であった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。
果樹共通		
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カンザワハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< やや多 >	発生はやや多かった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ (施設)

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
トマトハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや多 >	発生はやや多かった。

キャベツ

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ダイコン

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

庭木及び街路樹

チャドクガ	< 並 >	発生は平年並であった。
モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランで葉先枯病とカイガラムシ類、ルスカスでこうじかび病の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリンガ	< 誘殺なし >

10 月月報 (令和 3 年 11 月 22 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

収穫時期は平年並となり、中旬には収穫がおおむね終了した。

(2) 野菜

果 菜 類：施設トマト、キュウリの生育はおおむね順調であった。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育はおおむね順調であった。キャベツやブロッコリー、ダイコンはやや生育が遅れ気味であった。

い も 類：サトイモとサツマイモの収穫が始まった。生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）におけるカキ主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。収穫始めは平年と比べ‘早秋’で7日、‘太秋’で13日、‘伊豆’で5日、‘甘秋’で3日早かった。収穫終わりは平年と比べ‘早秋’で9日、‘太秋’で4日、‘伊豆’で2日、‘甘秋’で3日早かった。

‘早秋’	収穫始	9月24日（－7日）	収穫終	10月13日（－9日）
‘太秋’	収穫始	9月30日（－13日）	収穫終	10月27日（－4日）
‘伊豆’	収穫始	10月4日（－5日）	収穫終	10月21日（－2日）
‘甘秋’	収穫始	10月4日（－9日）	収穫終	10月25日（－3日）

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少であった。

コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイコン・ハクサイ		
軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キシジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハコベハナバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
イチゴ		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリンガ	< 誘殺なし >

11 月月報 (令和 3 年 12 月 20 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果 菜 類：施設トマトの生育は概ね順調であった。施設イチゴは例年に比べ 1 週間ほど生育が早まった。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウ、ブロッコリー、ダイコン等は生育が進み、出荷が早まった。

い も 類：サトイモ、サツマイモの生育は例年並みであった。

2 病虫害の発生概況

(1) 野菜の病虫害

トマト (施設・抑制)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー

黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリンガ	< 誘殺なし >

12 月月報 (令和 4 年 1 月 19 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果 菜 類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：キャベツ、コマツナ、ホウレンソウの生育は順調であった。

根 菜 類：上旬に気温が高かった影響でニンジン、ゴボウ等の生育は順調で肥大が良好であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害

八丈島：ダイコンでマイマイ類とアブラムシ類、キキョウランでカイガラムシ類の発生が多かった。

小笠原：キュウリでべと病の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

1 月月報(令和4年2月28日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）の生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナやハウレンソウは一部地域で凍害が見られた。ネギの生育は概ね順調であった。

根菜類：ダイコンは凍害による葉の傷みが見られた。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

2 月月報(令和4年3月25日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果 菜 類：施設栽培のトマト及びイチゴの生育は概ね順調であった。

葉根菜類：収穫が2月以降にずれ込んだキャベツにおいて、凍害が見られた。ネギにおいて葉の傷み、ダイコンにおいて表皮剥離等の寒害が見られた。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 月月報(令和4年4月12日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト・イチゴでは平年に比べやや生育の遅れが見られる。スイートコーンは寒暖差の影響で地域により葉枯れ症状が見られた。

葉菜類：コマツナ、ノラボウナの生育はやや遅延傾向である。

根菜類：コカブの生育は概ね順調である。

イモ類：ジャガイモの植付は平年並みである。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。